

バイオマス利活用技術情報データベース調査票（炭化施設用）

（社）地域環境資源センターでは、バイオマス利活用施設整備の促進を図るためには、これから施設を建設しようとする地方公共団体等に対して、施設の計画、設計、工事発注等の関連業務を効率的に進める上で参考となる技術的な情報を提供することが重要であるとの観点から、既設の施設に関する情報を収集・登録し、広く提供するための「バイオマス利活用技術情報データベース」の整備を進めています。

本調査票は、当該データベースに登録するための市町村等からのデータ提供用のものであり、この調査票によって得られたデータはウェブ上で一般に公開する予定です。

関係の皆様にはデータベース構築の趣旨をご理解の上、何とぞご協力賜りますようお願い申し上げます。

本調査に関する問合せ先、調査票提出先

（社）地域環境資源センター バイオマス技術部
バイオマス利活用技術情報データベース担当 あて
〒105-0004 東京都港区新橋5丁目3番4号 農業土木会館6階
電話：03-3432-6283 FAX：03-3432-0743
<http://www.jarus.or.jp/>
mail：datainfo@jarus.or.jp

i 調査票記入者（連絡用）

次の表の情報は、次ページ以降の調査票にご記入いただいた内容に関する問合せ等の連絡先としてのみ利用するものです。これらをデータベースに登録したり公開したりするものではありません。

調査票記入年月日 平成 年 月 日

氏名	
所属	
住所	〒
電話番号	
FAX 番号	
e-mail アドレス	

ii フロー図・カタログ等

調査票と、併せてパンフレット（対象施設のフロー図を含むもの、地域の活動に関するもの等）や設備のカタログ等をご提供くださるようお願いいたします（PDF 形式などにより電子化されたものが望ましいですが、ない場合は印刷物でも結構です）。

なお、ご提供いただいたパンフレット等の全部または一部は本データベースの検索結果の一部として閲覧、ダウンロードできるようにする予定です。あらかじめご了承ください（ご提供いただくパンフレット等に公開できない部分が含まれる場合は、その部分に印をつけるなどにより明示してください）。

1. 施設の概要

1.1 施設の名称					
1.2 施設の名称（フリガナ）					
1.3 所在地（住所）	都道	郡	市区		
	府県	市	町村		
	市区町村の地方公共団体コード（5桁） 不明な場合は空欄で結構です。				
1.4 供用開始年月日	西暦	年	月	日	

1.5 管理主体

(1) 管理主体名	
(2) ホームページ URL	http://

※施設の概要などを紹介しているホームページを公開している場合の URL としてください。なお、ここに記入していただくウェブページは本データベースにおける検索結果からリンクする予定ですので、それにご了承いただける場合のみご記入ください。

1.6 維持管理概要 （管理費、管理人員とも整数）

	計 画	実 績
(1) 維持管理費	千円/年	千円/年
(2) ・維持管理人員(常勤)	人	人
・非常勤人員	人	人

※公表可能な場合は、実績値もご記入ください。

1.7 事業概要

(1) 事業名	
---------	--

※事業主体が用いている当該施設の整備に係る固有の事業名としてください。通称名でも結構です。

(2) 事業主体名		
(3) 総事業費	百万円（百万円未満四捨五入）	
(4) 助成制度利用の有無	1. 有 2. 無 どちらかを○で囲んでください。	
(5) 利用した助成制度名と助成主体名 ※複数あれば列挙してください。	助 成 制 度 名	助 成 主 体 名

1.8 その他団体等

(1) 団体等名称	
-----------	--

※施設の設計や維持管理に当たって、特に技術的な協力を得ている研究機関、大学、民間団体等があれば、その名称を記入してください。

2. 設備の製作・据付会社

本施設における設備の製作または据付を含む工事等（事業主体が自ら発注した設備の購入契約を含みます）及びその受注会社（設備メーカーや据付工事の施工会社又はJV）について記入してください。

設備の製作や据付を含まない土木・建築工事（例えば敷地造成、外構整備、上屋建築などを個別に発注したもの）は調査対象外ですので、ご記入いただく必要はありません。

同一の受注会社（又はJV）が複数の工事等を行った場合は、それらをまとめて1件とし、総工費（契約金額）は合算してください。

受注会社（又はJV）の異なる複数の工事等がある場合は、お手数ですがこのページをコピーのうえ、受注会社（又はJV）ごとにご記入ください。

2.1 工事等の件名	
------------	--

※複数年度にわたる場合などで複数の異なる件名がある場合は、請負金額が最も大きい工事等の件名とし、その他の工事等の件数を「他〇件」と追記してください。例：「〇〇建設工事他2件」

2.2 工事等の内容	1 設備の製作・購入を含む 1. 乾燥設備 2. 破砕設備 3. 炭化設備 4. 集塵設備 5. 微粉碎設備 6. その他（ ）
	2 設備の製作・購入を含まない ※設備の据付のみを行う工事が該当します。

工事等の内容が設備の製作（または購入）を含むか含まないかを選択のうえ、設備の製作・購入を含む場合は該当する設備の番号に○をつけてください（複数選択可）。

設備の区分については本調査票6ページの「4. 設備の概要」を参照してください。

2.3 総工費（契約金額）	百万円（百万円未満四捨五入）
---------------	----------------

※複数年度にわたる場合などで複数の工事がある場合はそれらの工事費の合計としてください。

2.4 全体工期(契約等の期間)	着工：西暦 年 月 ～ 完了：西暦 年 月
------------------	--

※複数年度にわたる場合は最初の年の着工年月から最後の年の完了年月としてください。

2.5 受注形態（単独かJVか）	1. 単独 2. JV 該当するものを○で囲んでください。
------------------	---------------------------------------

2.6 受注会社名

(1) 会社名 ※JVの場合はJV名	フリガナ
(2) JVの場合の構成会社名 ※JVの構成会社を出資比率の大きい順にすべて列挙してください。	フリガナ
	フリガナ
	フリガナ
	フリガナ
	フリガナ

会社名の記入について：

- 「株式会社」等の会社種別も省略せずに必ず記入してください。ただし、「(株)」等と略記しても構いません。また、会社種別にはフリガナをふる必要はありません。
- JVの場合の構成会社名は、出資比率の大きい順にすべての会社名を列挙してください。欄が足りない場合は余白等を利用してすべてご記入ください。

3. 変換技術の概要（炭化施設）

3.1 炭化施設の原料バイオマス

(1) 処理方法 ※単一選択	1. バッチ処理 2. 連続処理	
(2) 年間稼働日数 又はバッチ数 ※どちらか一方を記入してください。	年間稼働日数	日/年（整数）
	年間稼働バッチ数	回/年（整数）
(3) 年間処理量	t/年（整数）	
(4) 1バッチ当たり処理量 ※連続処理の場合は1時間当たり処理量	kg/回（連続処理の場合はkg/時） （小数点以下1位まで）	
(5) 種類別内訳	次の表の種類ごとに有無を○で囲った上で、該当するものの計画・設計上の搬入量（t/年、t/日）と含水率（%）を記入してください。	

原料バイオマスの種類別内訳（含水率は小数点以下1位まで、重量比率は整数でお願いします）

	種類	有無	含水率（%）	全処理量に対する重量比率（%）
1	木くず	有・無		
2	もみ殻、稲わら	有・無		
3	バカス	有・無		
4	竹	有・無		
・	その他（ ）	有・無		

※搬入量は原則として計画値を基本としますが、施設稼働後に計画値が変更されている場合は、変更後の計画値を優先願います。

3.2 生成物質

(1) 年間製造量	t/年（整数）
(2) 1バッチ当たり製造量 ※連続処理の場合は1時間当たり製造量	kg/回（連続処理の場合はkg/時）（整数）
(3) 種類別内訳	次の表の種類ごとに含水率（%）、低位発熱量(kcal/kg)、嵩密度(g/cm ³)、一般販売の有無、販売価格、用途について記入してください。

炭化物の種類別内訳

	種類 [有無]	嵩密度 (g/cm ³)	販売 有無	販売価格 (円)	用途 (種類ごとに複数可)
1	白炭 [有・無]		有・無		1. 燃料炭 2. 工業炭 3. 土壌改良材 4. 消臭剤 5. 水質浄化材 6. 調湿材 7. 融雪材 8. 生活健康資材 9. 活性炭 10. 研磨材 その他 ()
2	黒炭 [有・無]		有・無		1. 燃料炭 2. 工業炭 3. 土壌改良材 4. 消臭剤 5. 水質浄化材 6. 調湿材 7. 融雪材 8. 生活健康資材 9. 活性炭 10. 研磨材 その他 ()
3	低温炭化木炭 [有・無]		有・無		1. 燃料炭 2. 工業炭 3. 土壌改良材 4. 消臭剤 5. 水質浄化材 6. 調湿材 7. 融雪材 8. 生活健康資材 9. 活性炭 10. 研磨材 その他 ()
4	竹炭 [有・無]		有・無		1. 燃料炭 2. 工業炭 3. 土壌改良材 4. 消臭剤 5. 水質浄化材 6. 調湿材 7. 融雪材 8. 生活健康資材 9. 活性炭 10. 研磨材 その他 ()
5	オガ炭 [有・無]		有・無		1. 燃料炭 2. 工業炭 3. 土壌改良材 4. 消臭剤 5. 水質浄化材 6. 調湿材 7. 融雪材 8. 生活健康資材 9. 活性炭 10. 研磨材 その他 ()
6	活性炭 [有・無]		有・無		1. 燃料炭 2. 工業炭 3. 土壌改良材 4. 消臭剤 5. 水質浄化材 6. 調湿材 7. 融雪材 8. 生活健康資材 9. 活性炭 10. 研磨材 その他 ()
7	その他 () [有・無]		有・無		1. 燃料炭 2. 工業炭 3. 土壌改良材 4. 消臭剤 5. 水質浄化材 6. 調湿材 7. 融雪材 8. 生活健康資材 9. 活性炭 10. 研磨材 その他 ()

3.3 副産物

次の表の種類ごとに年間生成量を記入してください（生成量は小数点以下を四捨五入した整数）。
また、種類ごとの副産物の活用有無を○で囲い、活用する場合は活用先を選択又は記入してください。

	種類	年間生成量 (整数)	副産物の活用	
			活用の 有無	活用先
1	木酢液	L/年	有・無	※複数選択可 1. 化粧品利用 2. 入浴剤利用 3. 園芸利用 4. 消臭剤 ・その他 ()
2	木タール	L/年	有・無	()
3	乾留ガス	m ³ /年	有・無	・補助燃料材 ・その他 ()
・	その他 ()	単位()/年	有・無	※ 活用先記入

4. 設備の概要（炭化）

【基本的な設備】

4.1 炭化設備

(1) 炭化炉の種類 (単一選択)	1. 炭窯 2. ロータリー炉 3. 攪拌炉 4. 流動炉 5. スクリュー炉 ・その他 ()
(2) 伝熱方式 (単一選択)	1. 直接加熱式 2. 間接加熱式
(3) 炭化温度	1. _____度 (整数) 2. 可変式
(4) 炭化時間	分 (整数)
(5) 炭化設備	<u>公表可能であれば</u> 成型機のメーカーと型式ごとに、台数、能力を記入してください。 ① メーカー名 () ② 型式 () ③ 1台当たりの能力(t/時) ()

【その他の設備】

4.2～4.3 の設備について有無を○で囲った上で、有の場合はそれぞれの内容を記入又は選択してください。

4.2 破碎設備	有・無	破碎方式 (単一選択)
		1. 一軸破碎方式 2. 二軸破碎方式 3. 移動方式 ・その他 ()
4.3 集塵設備	有・無	集塵方式 (単一選択)
		1. サイクロン 2. バグフィルタ ・その他 ()

ご多忙の中、ご協力ありがとうございました。